

カーナビゲーションシステムにおける 高速道路ナンバリングの活用案と課題

2016年6月20日
パイオニア株式会社

高速道路関連の主なカーナビ機能

ハイウェイモード

高速道路走行時に最適なマップ表示



ルート案内

IC,JCT等の音声案内やイラスト表示



その他の機能

- ・乗り降りIC指定
- ・施設検索
- ・有料道路料金区分指定
- ・有料道路料金表示



高速道路関連の主なカーナビ機能

ハイウェイモード

高速道路走行時に最適なマップ表示



ルート案内

IC,JCT等の音声案内やイラスト表示



ナンバリングとの関連が
想定される機能

その他の機能

- 乗り降りIC指定
- 施設検索

- 有料道路料金区分指定
- 有料道路料金表示



路線番号・施設番号活用のメリット① ハイウェイモード



※画面は架空のイメージです



番号情報なしのイメージ

課題① 路線・施設番号の体系（枝番の有無や桁の上限等）が予め決まっており、恒久的であることが望ましい

ジャンクション分岐後の路線番号や出口番号が事前に確認できるので、道路標識と照合することで、正しい進路が認識しやすくなる

路線番号・施設番号活用のメリット② ルート案内



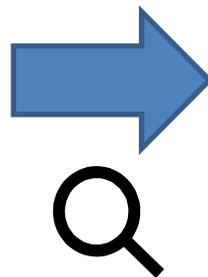
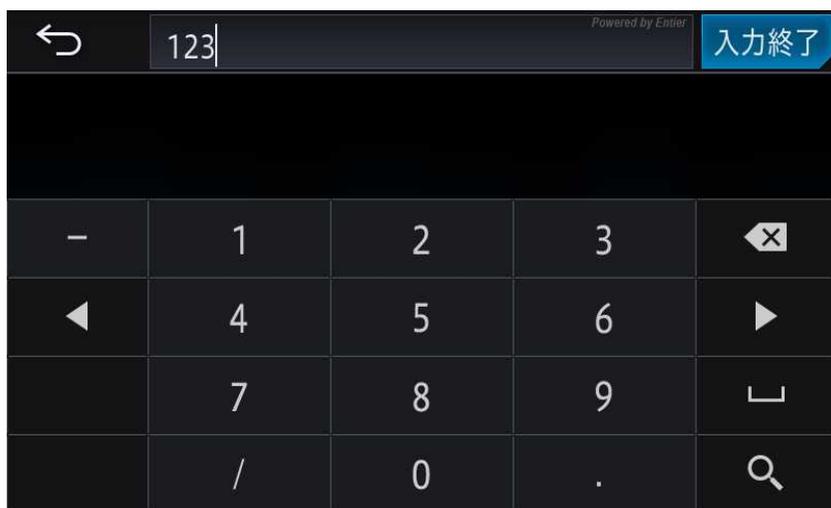
♪およそ800m先、
E24方面へ、
板橋JCTを右方向です。

課題② 路線番号を音声で案内するにあたっては、番号の読み方が統一されるようガイドラインを制定することが望ましい

※画面は架空のイメージです

音声案内やイラスト表示で分岐後の路線番号が確認できるので、正しい進路が認識しやすくなる

路線番号・施設番号活用のメリット③ 高速施設検索



「路線番号 + 施設番号」を入力

該当指定施設を表示

※画面は架空のイメージです

現在のカーナビには文字入力による施設検索や、リスト検索機能があるが、施設名称の読み仮名が分からない場合や、施設の並び順に不案内だと使いづらい、という課題があり、その改善が期待できる またインバウンド向けにも有用と考えられる

課題① 路線・施設番号の体系（枝番の有無や桁の上限等）が予め決まっており、恒久的であることが望ましい

カーナビ視点での課題まとめ

※① 路線・施設番号の体系（枝番の有無や桁の上限等）が予め決まっており、恒久的であることが望ましい

※② 路線番号を音声で案内するにあたっては、番号の読み方が統一されるようガイドラインを制定することが望ましい

メリット①、②共通の課題

（従来の）名称での案内・表示と、数字での案内・表示、名称・数字の併用、それぞれにおける情報認知負荷について検証することが望ましい

（※②が関連）

以上